

STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2013推進ニュース

「社会保障・税一体改革」阻止・介護保障制度の抜本改善を!!

—今年も介護の“Big Wave”をおこそう!



介護予防を切り捨て

市町村へ丸投げ!!



介護保険部会で厚生労働省案を提示

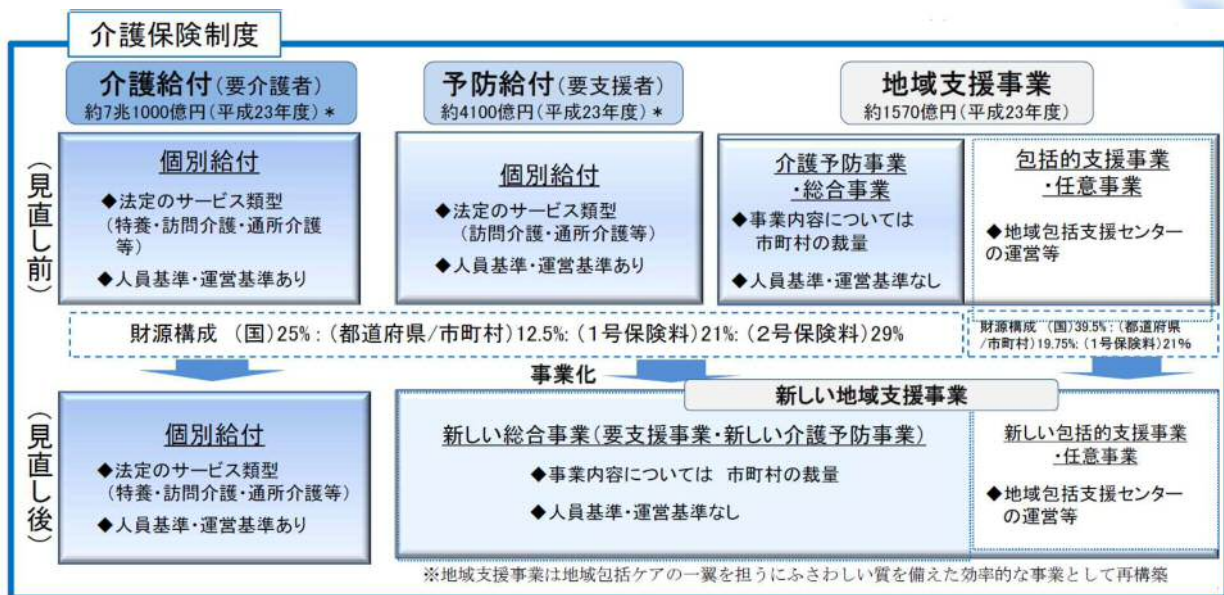


社会保障審議会（厚労相の諮問機関）介護保険部会は、次期介護保険の見直しに向けた議論を開始しました。

9月4日に開催された会議では、介護予防を切り捨て、市町村事業へ丸投げする案が提示されました。今後7回の審議をおこなう予定で、11月下旬にはとりまとめが行われます。

厚生労働省の案では、要支援者に対する介護予防給付を、地域支援事業に移行させ、新たな受け皿として地域支援事業の生活支援サービス「新しい総合事業（要支援事業・新しい介護予防事業）」の創設を提案している。

しかし、事業内容は市町村まかせで、人員基準や運営基準はなしの事業となっているため、反対意見や不安を指摘する委員もありました。



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」 事務局：諏佐・山平

☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp



【傍聴メモ】

勝田委員（認知症の人と家族の会）

「認知症の対応は早期の発見・治療が重要。介護予防切り捨てはすべきではない。明らかに「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」の方向とは違う」



大西委員（全国市長会・高松市長）

「介護予防の市町村へ移行は、準備時間が不足。自治体の財政問題の不安が大きい」

結城委員（淑徳大学教授）

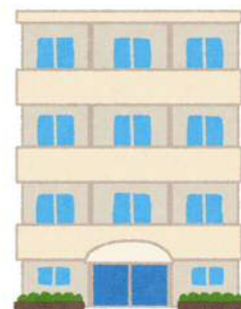
「新しい地域支援事業は、市町村間の格差が生じる可能性がある。市町村の体制整備が出来ていない。段階的に移行するなら、要支援1を先に移行する方法もある」

伊藤委員（連合） 「予防給付の廃止は乱暴ではないか」

その他にも、制度「見直し」の提案が予想されます

- 特養ホームの入所から軽度者を切り捨て
- デイサービスのさらなる切り捨て
- 一定以上の収入の利用料の引き上げ
- 補足給付の改悪
- 低所得者の保険料軽減??

今後、これらの見直し案について審議が行われます。



「2013年拡大社保委員長・共同組織委員長合同会議」の2日目に 「介護ウェーブ会議」（介護・福祉部主催）を開催します

9月21日（土）～22日（日）*1日目は社保委員長・共同組織委員長合同会議と合同です

国民会議の最終報告を受けて、介護保険部会では、要支援の切り捨てをはじめとする本格的な検討が開始されています。改悪の内容をしっかりとつかみ、各地の経験を学びながら、現場から、地域から、改悪反対の声をひろげていきましょう。

会議への積極的な参加をお願いします。

《会議スケジュール》

- 講師養成講座『次期介護制度改革をめぐる動向と改革の問題点』
- 新署名、学習資料（ちらし）、影響調査の説明
- 各地の報告
- 全体のまとめ、行動提起